

さ ざ ん か

第87号、2009年1月

あけましておめでとうございます。今年も広報誌「さざんか」をよろしくお願い致します。ちょっと前までは、企業栄えて社員貧乏、などといわれたりしていましたが、いまは栄えていたはずの企業そのものが危うくなり、社員は貧乏どころか職そのものも失いかねないひどい時代となってしまいました。2、3年前にこういう状況を予測したエコノミストや経済官僚は殆どいないのではないのでしょうか。医療の崩壊どころか生活そのものが崩壊しかねない状況ですが、ある意味マネー至上主義を見直す良い機会だと思えば、苦境もまたよし、として日々を過ごしていくことにしましょう。

せっかくのいい機会ですから、医療とか福祉とかを「自己責任」のみで片付けるのではなくみんなで支えあうような社会になれば良いなと思います。

医師不足で大変な時代のなか、北薩病院もその荒波を正面からかぶってはいますが、伊佐地域の医療を担うという自覚と矜持を持って、病気と闘う人達と一緒に頑張っていきたいと思えます。今年もみなさまとともに歩む北薩病院でありたいと願っております。

俳句

西屋敷喜美子

平凡と 言ふ幸ありて 冬うらら

正月や 健康願ふ 年女

びたり合ふ 友の手編みの 毛糸帽

病院からのお知らせ

- * インフルエンザが流行っております。外出から帰宅したら手洗い、うがいなど怠りないようお願いいたします。
- * 神経内科外来は火曜日が鹿児島大学からの応援医師、それ以外は高橋先生の担当になります。
- * 毎月第 3 金曜日の血液外来は前院長の野村紘一郎先生の担当になります。その他肝臓病外来、糖尿病外来（月、金：福重先生）の専門外来も開設しております。
- * 4 月から研修医が当院で 1 年間の研修を開始しております。米澤英理先生です。よろしくお願いたします。
- * 脳神経外科外来について：鹿児島大学病院から応援にきていただいている外来は週 2 回開設しております。火曜日と金曜日です。お間違えないよう。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみてもいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- * MRI で脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながることもあるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。
- * MRI は腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。

秋に想う

別府政高

秋の夕暮れ時、西の山間に沈む真っ赤で大きな太陽を見た。感動する私。今頃季節的には最も過ごしやすい時期と云われているが、今年は例年にない雨の多い年だった。気分的にも、うっとおしく落ち着かない日々が続いていた。気候の変化、温暖化現象の表われだろうか。

そんな、或る日、こんどは朝夕特に冷え込んだ。野山もすっかり色づき、秋の気配を感じさせる季節となりました。私も持病があり、13年前、腰痛、膝の手術を受けた。また、高血圧、腎臓病等あり、現在治療は続けているものの、気力と根性でこれまで過ごして来た。併し、最近では、日増しに年を重ねる思いがある。特に夜は足腰の痛みが酷く感じることも少なくない。

そんな時、テレビのスイッチを入れて暫く経ってから、番組チャンネルを切り替えた時、盲目の1人の青年が、プロ歌手として元気良く唄っているではないか。また、事故で両足不自由ながらも、車いすで、日本代表選手として、オリンピックで活躍している姿を見て、何と素晴らしい事だろう、その姿を見て涙ながら感動した。彼らもこれまでどれ程苦しみ、人知れぬ努力をした事だろうと、思った時、胸が痛んだ。

私も生きていく限り、前向きに、一歩でも、否半歩でも良い、精一杯努力しようと決心した。厭な気持ちを捨て、病に負けぬよう。お互い努力することで明るい明日を信じて、元気を出して、笑って、暮らすことではなかろうか。

新年のさざんかで生意気な言葉 宮園辰夫

身近の人の死に逢うたびに、人間の命のはかなさを知り、生きていくことの尊さを骨身にしみて味わいます。人間の命の尊さを病気になって味わったお陰で、ほんものの人様に裸で逢うことが出来ました。

ほんものの人に巡り逢うことが縁となり、沢山のよい人に会える喜びを味わうことができました。だから、私の廻りにいる人はみんな良い人ばかりです。ボケたらいけません。長生に努め、泣きごとや、人様の陰口は言わないで、人様はほめて自分はアホで良い。若い人には花を持たせ、自分は一歩下がっていた方がよい。

いづれはお世話になる身だから、いつも感謝を忘れないで有難うと云う気持ちは忘れないで、山ほど徳を積んで、昔の良い事、悪い事、すべて忘れた方がよい。誰からでも慕われる、よい年寄りになろう。その為にも何か一つの趣味を持つようにしませう。人は皆、縁あってこの世の人として生を受け、所詮この世の中の間借り人である。

三度の食べ物にも文句を云わない。美味しいと云って、人に気まずい思いをさせない。我が身には至らぬことばかりで、怒らず、貪らず、程よくこの世に暇乞いして、あの世に帰れたら云う事はないでせう。なんでもつもりと云うのは誠に難しい。

高いつもりが低いのが教養。深いつもりで浅いのが知識。浅いつもりで深いのが欲望。厚いつもりで薄いのが人情。強いつもりで弱いのが根性。少ないつもりで多いのが無駄。そのつもりで頑張りませう。私等、書くのは書いても実行は難しい。でも頭の片隅にある丈でも伊達に年は取らなかったものと思へば良い。あーあ。世渡りは難しいものですね。

冬木立

宵月の淡き彼方に点々と今来し鶴等啼きながら消ゆ

風邪長く癒えねば心よろひつつ年末年始の早く過ぎ行く

さつま狂句

あまくだつ 天^{あまくだつ}下^あよ養^あしの為の国民の税金

コマーシャルで良か良かち効^きつ目無し

真^ま処^{じょ}有^あってん女^め房^{ぼう}い灰^か皿^{びん}ち不^ふ精^{せい}な亭^{てい}主^{しゅ}

カラーマン休筆を企てる

カラーマン（とそのオンナ）

さざんか紙上で昨年の2月から始まった好評（といっても、ほんの数人の人にだけだけどね。ふふふ。それに、好評と言いつ切るその自信がこわいわあ）のカラーマンシリーズ。24回連続の長期掲載を誇る。（だって、編集者と投稿者が一緒だからそんなの当たり前じゃん！）

毎回、毎回つまらないことばかり書いてきたが、どうも最近ではネタが尽きてしまって、もともとのふところの浅さというか、幅の狭さというか、教養の軽さというか、そういうものを誤魔化して書いてきたのだが、遂にネタが尽きてしまって休筆を宣言する。（あらまあ。そうなの。ネタってのはどこにでも無尽蔵にあるはずだよ。教育、医療、政治、社会、スポーツ、芸能、職場、人間関係などいくらでもあるはずなのにね。）

時にはカラーマンのオンナに書かせたこともあった。（まあ、それでも実質はおなじなん

だけだね。でも、休筆するなんて、カラーマンさんはお疲れなのかしら。）

そもそも、人はなぜ、わざわざ自分の思っていることとか、考えていることを書いたりするのだろうか。自分で思っていればそれでいいではないか。それをわざわざ文章にして人に伝えたいと思うということはどういうことだろうか。

（それは、当たり前なのよ。人は人に認められたいという本能があるのだから。そのことは以前あなたもマズローのことを出して書いていたじゃないの）

そうだったなあ。スポーツ選手もただ人より早く走りたいという欲求もあるけれど、それを誰かが認めてくれなければ早く走るために苦しい練習をする意味はないのだろうね。

高橋尚子だって、オリンピックとか競技会があるから走るのだからね。

芸能とかも見る人がいるから成立するわけだし、歌も聞く人がいるから歌うのだろうし、小説も読む人がいるから書くのだろう。ということは、やはり他人の存在があって初めて自分も存在するということになるのだろうか。他人あっての自分かもしれない。

もっと広く考えてみると、人が生きていけるのも他人（他者）がいるからということになるのだろうか。誰にも頼らずに生きている、と思っている人も誰にも頼らずには生きていけないというか、誰か（他者）がいなければそもそも自分の存在も意味がない、ということに気づくべきなのだろうか。

だいたい何のために人はこの世に存在するのだろう。（ふふふ。昔から人間は進歩していないから、ソクラテスの時代から人はそんな事ばかり考えてきたのだわ。だいたい哲学者って人達の究極の解明すべき命題はそれにつけるのじゃないかしらん。なぜ人は生きるのか・・・）

デカルトとかカントとかショーペンハウエルとかの西洋人（あっ、それって、明治だか大正時代だかしらないけど、デカンショ、デカンショ・・・という流行語の語源の人達ね）だけでなく東洋でも孔子とか孟子とか日本でも賀茂長明とか兼好法師とか、夏目漱石とか偉い人達もみんな同じことを考え、結局、回答のない問題を解いているのだわ。何のためという問うこと自体がすでに人間であることのワナにはまっているようなものよ。むずかしく考えなくていいのだわ。それが人間の宿命なのよ。人は生まれて、生きて、死ぬだけ・・・）

確かに、動物は何のために生きていくのかは考えないかもしれないなあ。いや、もしかしたら考えているかもしれないけどね。実は、ウチのポチは人生、いや犬生について考え、如何にしたら犬としての正しい生き方ができるか、尻尾を振りながら考えているとかいうこともあるかもしれないか。いやいやゴキブリですらも、おれはこんな貧相なカラーマンの家の食べ物をあさっているが、果たして俺の生き方はこれでいいのだろうか。もっ

と、立派な家にすみつくべきじゃないのだろうか、何と俺の志は低いのだろうかと悩んでいるかもしれないしね。

（うーん。やっぱりあなた、アホだわ。犬やゴキブリと人間は違うでしょう。どこが違うって？それは知恵でしょう。つまり脳みそでしょう。脳みそが生み出す「自我」という意識でしょう！そんな事も分からないのかしらねえ。DNA を基準に考えるとそうは違わないけれど、その表現形には絶対的な差があるのよ。）

ふん。そんな事は分かっている。でも、世の中には、人に認められることを求めることなく、淡々と自分の生き方をしている人もいるだろうし、名声はなくても立派な人も沢山いるだろうということも確かだろうね。（そうね。逆に大した実力もないのにメディアを上手く利用して立派に見せている人は山ほどいるしね。）自分を主張することが、西洋の文化の基本だから西洋文明と本格的に接して以来、何となく自分を主張しない、つまり声を出さないことは悪いことだ、損をすることだと思わされてきたような気もするね。

ちょっと、照れもあるけれども、名もなく貧しく美しく、という言葉というか価値観は大事なかもしれないなあ、と思うこともあるね。（そうね。特にお金にまみれて、お金を持っていること、稼ぐことが人生の価値とイコールになったように見える現代ではそう思うこともあるわね。でも、現実にはある程度のお金がないと人は幸せになれないのもまた現実でもあるから、やっぱりあたしはお金が欲しいなあ。できたら沢山。一生遊んで暮らしたいなあ。世界中を旅行して、立派なホテルに泊まって、沢山美味しいものを食べて・・・）

欲があるから、人は悩む。煩惱はなかなか捨てきれない、ということか。（なんやかやいって、休筆せずにすんだから良かったわね！たった数人、あたしの知っている範囲ではたぶん7, 8人、だけど、カラーマンのファンも居るから頑張って掲載つづけなさいよ）

編集後記

またあたらしい年が始まりました。平成になって21年目。時間は止められず、人は年をとっていきます。残された人生が短くなればなるほど、1日1日が大切になっていきます。余命が70年も有る子供達の日とわれわれの日は同じ一日でも違う一日であるような気がします。人のしあわせとは何でしょうか。おそらく、人の顔や性格がみんな違うように人が感じる幸福感もみんな違うのでしょうか。今年も幸せと感じる年であればいいですね。（KT）